

スキーの特性に応じた基礎理論 2)

築瀬 歩(愛知産業大学)

4. スキーの指導方法論

- 1) スキー学習のための内容的条件**
- 2) スキー指導の評価と活用**

現場における指導の際の具体的な留意点について理解する。

**学習活動の展開における指導者の役割
(指導技術)**

[「技術と指導」PP.120 ~ 123]

良いスキー学習のための内容的条件 (指導技術)



1. 学習環境・条件の整備

学習効率と安全性を考慮した整備
特に、課題別適合斜面の選択

2. 学習形態・指導方法の選択

一斉学習・班別学習・グループ学習・個別学習
学習者の技能レベルに応じた指導形態の対応

良いスキー学習のための内容的条件 (指導技術)

3. 技術的課題・学習方法を理解させる指導

合理的な師範

効果的な言葉のなげかけ

視覚機器の活用

4. 有効なフィードバック情報の提供

動作の手がかりとなる明確なフィードバック情報

正否の判別が感覚的にできるフィードバック情報

肯定的フィードバックと矯正フィードバック

優先的矯正点の的確な指摘

効果的タイミングでのフィードバック情報の提供



良いスキー学習のための内容的条件 (指導技術)



5. 課題移行のタイミングを判断する

6. 良好な人間関係への配慮

指導者の情熱

明るい雰囲気づくり

親しみを込めた語りかけ

学習者の性格に応じた対応

公平性への配慮

良いスキー学習のための内容的条件 (指導技術)



7. 学習者相互の人間関係への配慮

肯定的雰囲気づくりに配慮したルールの設定

予定の周知と相互に注意しあう雰囲気づくり

成果への賞賛と失敗への励ましの雰囲気づくり

8. 個々の学習者への関わりの配慮

9. 長い距離の滑走のなかでの学習

指導に欠かすことのできない指導計画の立案と指導の展開、評価の方法と活用についての理解を深める。

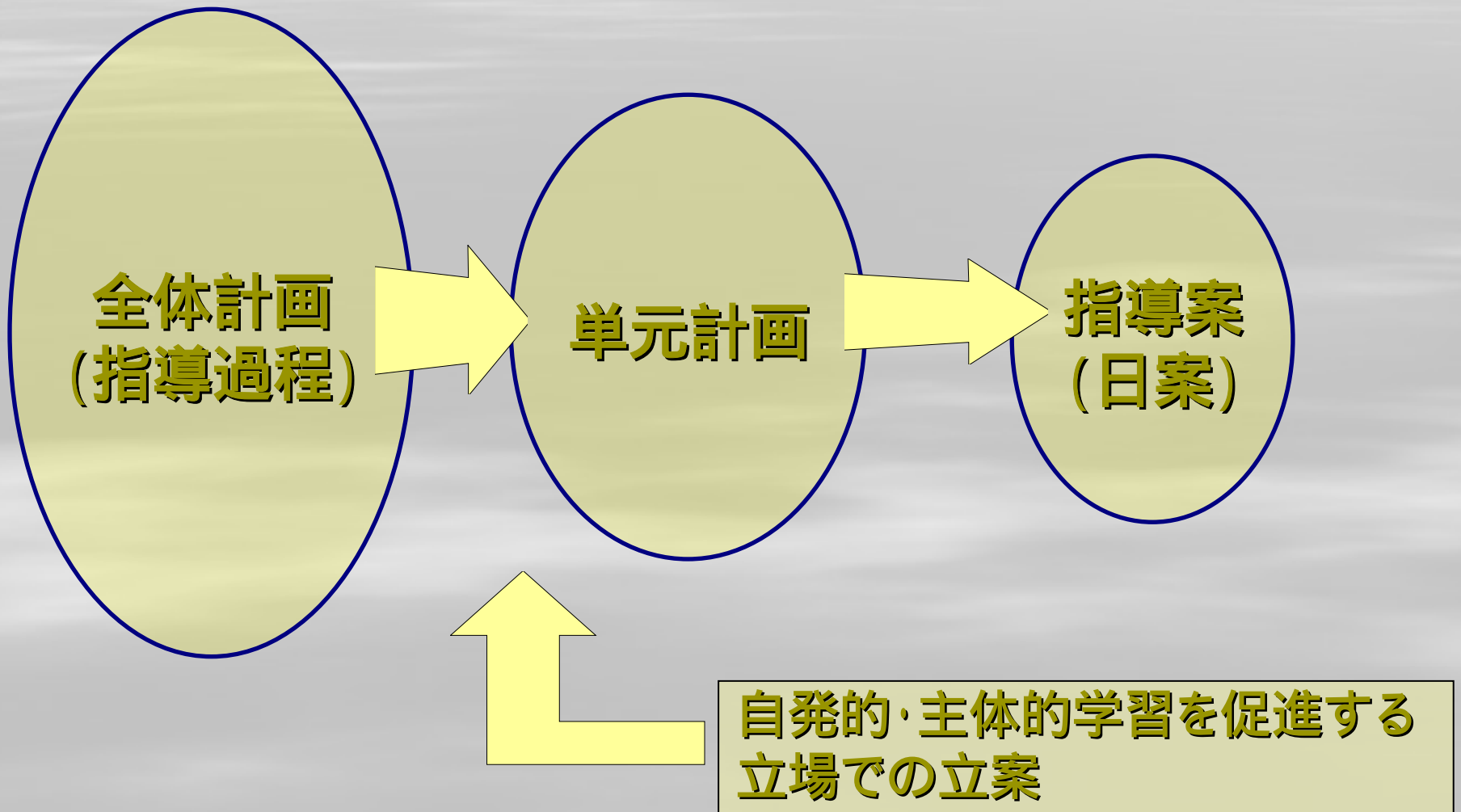
指導計画の立案

[『技術と指導』PP.123 ~ 125]

評価の方法と活用

[『技術と指導』PP.126 ~ 130]

スキー指導の計画



1) 全体計画(指導過程)

- 指導目標に応じ、時間的区切りごとの下位目標を設定する。
- 区切りごとの目標実現のために必要な技術内容を選択する。
- 区切りごとの時間配分を系統的に構成する。

2) 単元計画

対象学習者の実態を把握した上で立案する。
明確な目標を示す。

具体的、達成可能、公正な評価が可能な目標
目標を実現するための学習内容や活動の道
筋が明確に示された「学習過程」を立案する。

3) 指導案(日案)

当該時間の位置

対象者

指導場所

指導内容、活動の要点

準備すべき資料や用具

指導上の留意点

評価の観点

スキー指導における評価とその活用

1. 評価のねらい

「学習評価」と「指導評価」

2. 評価の種類

診断的評価 形成的評価 総括的評価

3. 評価の基準

絶対的評価・相対的評価・個人内評価
自己評価・他者評価・相互評価

4. 評価の実際

指導のあり方についての評価
学習者と学指導についての評価
楽しさ体験や学び方の評価